

身近な差別と偏見

「マイクログレッション」①

9月号と10月号の2回にわたって、現代的な差別と言われるマイクログレッションを取り上げます。

マイクログレセッションは、「小さな攻撃」という意味ですが、明らかな差別には見えなくても、マイノリティー（社会的少数者）に対するステレオタイプ（先入観・思い込み・固定観念）や、無知、無理解、無関心などによる発言や行為によって、無自覚に相手を傷つけることです。例えば、次のような場面を考えてみましょう。

①「小さな攻撃」ではあっても被害者側は、毎日、積み重なるように体験することでダメージが大きくなる。

②言った方は、悪意がなく無自覚、場合によっては褒めているつもりだったりするため、傷ついた方も言いづらかったり、指摘しにくい。

③仮に「差別だ」と声を上げたとしても、周囲の理解を得られるかどうか分からない。言われた側のとらえ方に問題があるとされるケースもある。

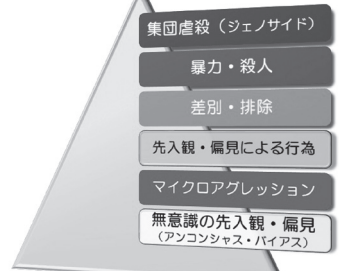
さらに、ヘイトスピーチのようないくつかの差別とは違う。直面している現実があるので。また、ヘイトスピーチのようないくつかの差別とは違う。直面している現実があるので。

「あなた大阪の人でしょ、何かおもしろいこと言ってるの？」（大柄な人に対して）

「人間は外見より中身が大事だから、気にしないで」

「たったそれだけの食事で足りるの？」（大柄な人に対して）

こうした言動は、受け取る側によっては不快に感じたり、許せなかったりする場合もあります。しかし、発言者には悪意がないことが多いため、相手を傷つけている自覚がな



ヘイトピラミッド
監修：アフリカ日本協会代表津山直子さん

ご案内

「第2回人権教育学級」

【日時】 9月11日(月)

午後2時から4時まで

(受付開始 午後1時30分から)

【場所】 サウンドハウスホール

【演題】 「部落解放運動百年の闘いと同和教育の実践から見えるもの」

【講師】 大阪市立大学・追手

門学院大学

大北規句雄さん

市教育委員会生涯学習課

人権教育推進室(新教育庁舎2階)

TEL 32・3814

FAX 33・1230

✉ jinkenkyouiku@city.

komatsushima-j-tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (406) 山崎泰子・選

あめつ ぎやくう へんろ まえかが つぎ ふだしよ
雨突くや逆打ち遍路の前屈み次の礼所はまだまだ速し

横須町 天王谷 一

てつきょう わた しやりようおときき さいしゅう
鉄橋を渡る車両の音聞こゆ最終列車か晩夏の静寂に

田浦町 太田カツミ

ほわほわと古代匂える金比羅の杜燃え立ちて鳥の囀り

中田町 湯浅 百世

つまねこ みとせす われ つぎ まも たんか たび
妻寝込みはや三歳過ぎ我ひとり月に護られ短歌に旅する

中田町 多田 健児

やまざと い くる たの ことば そ ばんちや
山里に生きる苦しさ楽しさを言葉に添えて番茶がどどく

小松島町 萬宮千鶴子

しゅつきん くるま と お ののさま たび
出勤するわれの車に止まり居る殿様バツタとたのしき旅に

田浦町 西 教明

かぜ き ひ みねとお すす ゆ ぎん じてんしゃくろ かく
風を切り日の峰通り進み行く銀の自転車黒き学ラン

松島町 萬野 行子

げんかん お ち ふくろ
玄関に置かれし小さき袋にはメモあり「いんげん豆ですどうぞ」

立江町 湯浅かや子

キンカンの木にぶらさがる空蝉を曾孫は喜び箱に入れやる

赤石町 田原トシ子

そうかん つ あ せたけこ なんかいじん あつ おも
創刊より積み上げてわが背丈越す「南海歌人」の厚さと重さ

中田町 松並 敦子